

第2学年英語科学習指導案

1 単元名 PROGRAM 5 You Look Great! (Sunshine English Course 2)

2 単元について

教材観

本単元は主人公である中学2年生の佐山由紀が、ほめ言葉について体験し、異文化とのかかわりの中でその意味を知るという設定になっている。マイクとの会話の中で、由紀はほめ言葉が挨拶の一部であることを理解し、それに対する返事の仕方を学ぶ。そしてアメリカでは、会話がしばしばほめ言葉から始まることから、会話においてほめ言葉が大切であることを知る。

このようにアメリカの文化社会では、ほめ言葉で会話を始め、その後に意味のある言葉のやりとりが続くのが一般的であり、それが人と人を結びつける重要な役割を果たしている。この教材では、このような日米文化の違いを理解し、誤解なく英語で会話を進めるためには、文化的背景に留意する必要があるということを知ることができる。

生徒観

本学級の生徒の英語に対する興味・関心は比較的に高く、佐賀県小・中学校学習状況調査(平成21年4月)でも94.4%の生徒が「英語の授業は楽しい(どちらかと言えば楽しい)」と答えている。また、「聞いたり話したりする活動は楽しい・どちらかと言えば楽しい」と答えている生徒は86.5%で、音声の学習やペアを作って対話をする活動にも楽しみながら取り組むことができる。しかし、「書く活動」について楽しいと感じている生徒は43.8%と低く、単語や文章を英語で書くことを苦手とし、英語の学習に意欲を失いつつある生徒がいることも事実である。

指導観

生徒に興味をもたせるように、身近な人を話題にしたりALTとの会話を聞かせることで、生徒に対話の場面をイメージさせ、自然な会話の中で新出文型をスムーズに取り入れられるよう、導入の仕方を工夫したい。また、毎時間チャレンジタイムを設け、3分間書く活動(ドリル学習、自己表現活動)に取り組ませることで、語彙力・表現力(書く力)の向上を図りたい。学習形態においては、グループ活動や発表会活動などの学び合い活動を取り入れ、英語で対話したり表現したりする機会をできるだけ多くもたせることで、書くだけでなく、お互いに英語で情報を交換し合うことの楽しさや達成感を味わわせたい。

言語材料としては、I think (that) ~ . が導入されるが、自分の意見を表現したり、意見をまとめて報告したりするというような活動において苦手意識が強い生徒たちもいる。こういった生徒たちに対しては、自分の考えをまとめて英語で述べるという場面を積極的に設定していくことで、自己表現力を身に付けさせたい。

3 単元の目標

- (1) 間違いを恐れず英語で積極的に書いている。
- (2) look + 形容詞, 主語 + 動詞(give, show) + 間接目的語 + 名詞, I think (that)の文の形・意味・用法を理解し, それを使って表現できる。
- (3) 教科書本文の内容を正しく読み取ったり, 相手の伝えたいことを聞き取ったりすることができる。
- (4) 日米文化の違いやものの見方や考え方の違いを理解している。

4 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	1 間違ふことを恐れずに、自分の考えなどを書いている。 2 必要に応じて辞書を活用している。
イ 表現の能力	1 look + 形容詞, 動詞(give, show) + 間接目的語 + 名詞, I think (that)を使って、伝えたい内容を正確に書くことができる。 2 伝えたい内容を整理し、文の構成を考えたまとまりのある英文を、書いたり話したりすることができる。
ウ 理解の能力	1 教科書本文を読んで、その内容を正しく理解することができる。 2 相手の意見を聞いて、何を伝えようとしているのか理解することができる。
エ 言語や文化についての知識・理解	1 look + 形容詞, 主語 + 動詞(show, give) + 間接目的語 + 名詞, I think (that)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 2 本文中にあるほめ言葉の使用を通して、会話に表れる日米文化の違いやものの見方や考え方の違いを理解している。

5 単元の指導計画(全7時間)

	学習活動	教師の指導・支援	評価規準と評価方法
1	look + 形容詞の意味・用法を理解し、それを使って英文を作る。	・ 形容詞のリストを提示し、ライティングノートにできるだけたくさん英文を作るよう励ます。	ア - 1【観察】 エ - 1【ライティングノート】
2	Section 1 の本文を音読し、内容を理解する。	・ ペアで音読練習をさせ、机間指導を行う。 ・ アメリカではほめ言葉が、あいさつの一部であることを理解させる。	ウ - 1【観察・Q & A】 エ - 2【観察】
3	give(show) + 間接目的語 + 名詞の形・意味・用法を理解し、それを使って英文を作る。 Section 2 の本文を音読し、内容を理解する。 ALTにお薦めの日本みやげを紹介する英文を作る。	・ 代名詞の目的格について確認し、語順に気を付けながら、ライティングノートにできるだけたくさん英文をつくるよう励ます。 ・ ほめ言葉に対する返答の仕方を理解させる。 ・ 例文を紹介し、 <u>英作文をするときのポイント</u> を提示する。 * 日本の物を英語で分かりやすく説明する。 * お薦めの理由を書く。 * 接続詞を使う。 * 自分の気持ちを入れる。 ・ 必要に応じて和英辞書を使わせる。 ・ 机間指導をしながら、個別に英文のチェックを行う。	ア - 1【観察】 イ - 1【ライティングノート】 ウ - 1【観察・Q & A】 エ - 2【観察】 ア - 1・2【ワークシート】 イ - 1・2【ワークシート】
4	グループで協力して、ALTにお薦めの日本みやげを紹介する英文を作る。	・ 前時の、 <u>英作文をするときのポイント</u> を確認する。	ア - 1・2【ワークシート】 イ - 1・2【ワークシート】

本時	<p>やげを紹介する英文を再構成する。</p> <p>クラス全体で、プレゼンテーションを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループで協力して、より説得力のある英文を作ることを確認する。 活動時間を細かく提示しながら、活動を促す。 机間指導をしながら、英文のチェックを行う。 発表の仕方・聞き方(メモを取りながら)・<u>評価のポイント</u>について指導する。 <ul style="list-style-type: none"> * 何を薦めているのか、分かりやすく英語で説明しているか。 * 買いたいと思わせる力(説得力)がある文章か。 	<p>イ - 2【観察】</p> <p>ウ - 2【ワークシート】</p>
5	<p>I think (that) の形・意味・用法を理解し、それを使って英文を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 形容詞のリストを提示し、ライティングノートにできるだけたくさん英文をつくるよう励ます。 	<p>ア - 1【観察】</p> <p>イ - 1, エ - 1【ライティングノート】</p>
6	<p>Section 3 の本文を音読し、内容を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ペアで音読練習をさせ、机間指導を行う。 アメリカでは、会話をほめ言葉で始めることが多いことを理解させる。 	<p>ウ - 1【観察, Q & A】</p> <p>エ - 2【観察】</p>
7	<p>単元全体の新出文型の復習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> リスニング活動を中心に、新出文型を理解できているか確認させる。難易度の高い問題では、事前にヒントを与えておく。 	<p>ウ - 2【観察】</p> <p>エ - 1【観察】</p>

6 本時の目標

- 間違いを恐れず、グループで意見を出し合いながら、英語で積極的に書いている。(関心・意欲・態度)
- give(show) + 間接目的語 + 名詞を使って、自分の考えを英語で書き表すことができる。(表現)

7 本時の展開 (4 / 7)

	学習活動	教師の指導・支援		評価規準と評価方法
		T 1 [JTE]	T 2 [ALT]	
導	1 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> 英語で挨拶をしたり、いくつか質問をすることで、雰囲気づくりを行う。 		
	2 めあてを確認する。			
入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> カール先生に、お薦めの日本みやげを紹介しよう。 </div>			

	3 前時に作った自分の英文を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 英作文をするときのポイントを提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音の仕方が分からない生徒に助言する。 	
展 開	<p>4 グループを作ってシェアリングし、案を1つにしぼる。</p> <p>5 グループでさらに英文を付け加えるなどしながら英作文を推敲し、発表原稿を完成させる。</p> <p>6 各班の代表の発表を聞き、薦める理由を3つ聞き取り、発表についてのコメントを書く。</p> <p>7 ALT のコメントを聞き、各班のおみやげが家族のだれにプレゼントされるか、またその理由を聞き取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 話を聞く態度と、聞くポイントを提示し、コメントの記入の仕方を説明する。 制限時間を提示する。 役に立つ表現を紹介する。 机間指導をしながら英文をチェックし、発表者が英文を読めるかを確認する。 メモを取るために1文ずつ区切って発表するように指示する。発表後に分かりにくかったところは、補足説明を行い、理解の助けとする。 今日の活動に対して賞賛のコメントし、英文を書くことに対して、自信や意欲をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音の仕方が分からない生徒に助言する。 各グループに対して、英文の表現の仕方によかった点と、家族のだれにプレゼントするかを考える。 家族のだれにプレゼントするのかとその理由を説明する。 	<p>ア - 1・2 【ワークシート】 イ - 1・2 【ワークシート】 イ - 2【観察】</p>
終 末	<p>8 次時の予告を聞く。</p> <p>9 あいさつを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次時予告をし、ワークシートを集める。 		